

報 道 発 表

平成27年2月23日 東 京 税 関

不正薬物の摘発件数196件、押収量約346kg

- ✓ 覚醒剤・大麻の押収量が、不正薬物全体の約98%を占めた
- ✓ 覚醒剤の摘発件数が過去10年間で2番目を記録
 - ~平成26年の東京税関における不正薬物密輸入事犯の取締り状況~

東京税関における平成26年中に摘発した不正薬物※は、合計で196件/約346kgとなった。 内訳は、覚醒剤124件/約289kg 、大麻32件/約51kg 、麻薬32件/約6kg 、向精神薬8件/約3千錠であった。

[主な特徴]

- ◆ 中国・タイ来覚醒剤密輸入が急激に増加
- ◆ タイ人女性による航空機旅客覚醒剤密輸入事犯が急増
- ◆ 大麻草及び大麻樹脂の大口密輸入事犯を相次いで摘発
- ◆ 依然として世界各地から不正薬物の密輸入が行われている状況
- ※ 不正薬物は、覚醒剤、大麻、あへん、麻薬(ヘロイン、コカイン、MDMA等)、向精神薬をいう。 資料1:「東京税関における社会悪物品の摘発実績」参照

東京税関における不正薬物摘発実績



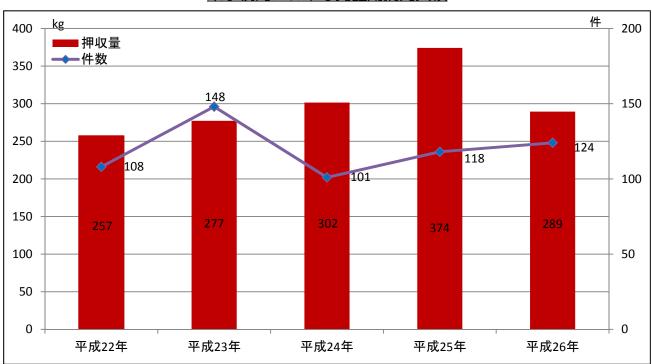
※押収量にはMDMA及び向精神薬の錠剤を除く

※平成26年は速報値

1 覚醒剤密輸入事犯の概況

- ▶ 押収量は、5年連続で200kg超となる約289kgであった。
- ▶ 摘発件数124件は、過去10年間で2番目となった。

東京税関における覚醒剤摘発実績



(1) 密輸入形態

- ▶ 航空機旅客においては、従来からあるスーツケースの二重工作や、菓子類等の 土産品への隠匿手口に加え、タイ人女性による身辺隠匿等の小口事犯が増加した ことから、押収量が減少したものの摘発件数は増加した。
- ➤ 航空機旅客の件数は、平成25年の92件を上回る過去10年間で2番目となる99件、 押収量は約209kgと平成25年より減少したものの2年連続で200kg超となり、 依然として航空機旅客による密輸入は増加傾向となっている。
- 商業貨物及び国際郵便においては、中国仕出貨物を中心に隠匿方法が巧妙化された事犯が増加し、さらに、第三者の住所を利用する等、悪質極まりない手口が横行した。
- ▶ 航空機旅客で利用された隠匿手口が、航空貨物で利用される等、複数の運送形態を 利用した密輸入形態の拡散化が見られた。

東京税関における形態別覚醒剤摘発実績

(件数/押収量)

	平成:	22年	平成:	23年	平成	24年	平成:	25年	平成26年			
航空機旅客	87件	180.6kg	122件	122件 199.4kg		160.3kg	92件	273.3kg	99件	208.5kg		
商業貨物	9件	58.6kg	16件	45.6kg	14件	118.5kg	14件	94.7kg	10件	66.8kg		
国際郵便	12件	18.2kg	9件	26.2kg	20件	22.7kg	12件	6.2kg	14件	14.2kg		
船舶乗組員	-	-	1件	6.0kg	-	-	-	-	1件	0.0kg		
合 計	108件	257.4kg	148件	277.2kg	101件	301.5kg	118件	374.1kg	124件	289.5kg		

(2) 仕出国・地域

- ▶ 中国からの急激な増加を背景に、アジア地域における摘発は90件/約201kgで、件数及び押収量ともに全体の約7割を占めた。
- ▶ 欧州地域の摘発は、近年、減少傾向にあったが、平成26年は件数が約1.7倍の 15件、押収量が約2.7倍の約37kgと再び増加に転じた。
- ※ 資料2:「覚醒剤にかかる仕出国・地域別件数一覧」参照

東京税関における仕出地域別覚醒剤摘発実績

(件数•押収量/構成比)

			平成2	2年	平成2	:3年	平成2	.4年	平成2	:5年	平成26年			
ァ	ジ	ア	50件	46.3%	45件	30.4%	30件	29.7%	54件	45.8%	90件	72.6%		
,		,	77.4kg	30.1%	81.2kg	29.3%	74.1kg	24.6%	164.0kg	43.8%	201.3kg	69.5%		
 	アフリた		30件	27.8%	37件	25.0%	17件	16.8%	18件	15.3%	7件	5.6%		
٠.		, ,,	117.2kg	45.6%	73.7kg	26.6%	49.0kg	16.3%	81.2kg	21.7%	9.3kg	3.2%		
欧	変 り	州	5件	4.6%	31件	20.9%	16件	15.8%	9件	7.6%	15件	12.1%		
EX.		711	6,2kg	2.4%	65,5kg	23.6%	37.4kg	12.4%	13.5kg	3.6%	36,6kg	12.6%		
ф		東	11件	10.2%	10件	6.8%	6件	5.9%	6件	5.1%	2件	1.6%		
7	4		17.3kg	6.7%	11.8kg	4.3%	47.8kg	15.9%	11.8kg	3.2%	3.8kg	1.3%		
ф	南	米	9件	8.3%	18件	12.2%	23件	22.8%	21件	17.8%	7件	5.6%		
Ψ	1+1		27.7kg	10.8%	20.1kg	7.2%	63.3kg	21.0%	72.2kg	19.3%	38.5kg	13.3%		
北		米	3件	2.8%	7件	4.7%	9件	8.9%	9件	7.6%	3件	2.4%		
10		/ ₹	11.5kg	4.5%	24.9kg	9.0%	29.9kg	9.9%	31.0kg	8.3%	0.0kg	0.0%		
 不		明	_	_	_	_	_	_	1件	0.8%	_	_		
1,	个 吗	U)3	-	_	_	_	_	-	0.6kg	0.2%	_	_		
合		計	108件	100%	148件	100%	101件	100%	118件	100%	124件	100%		
		āΤ	257.4kg	100%	277.2kg	100%	301.5kg	100%	374.1kg	100%	289.5kg	100%		

タイ人女性による航空機旅客の覚醒剤密輸入が急増!

平成26年において、タイ人女性による航空機旅客の覚醒剤密輸入事犯が急増した。

タイ人の航空機旅客による密輸入は、平成24年まで確認されていなかったが、平成25年に2人、 平成26年に23人と2年間で摘発が大幅な増加となった。

過去5年間の航空機旅客による密輸入事犯を国籍別で見ると、平成22年の日本人、平成23年のメキシコ人がともに16人と最多であったが、平成26年のタイ人は23人とより多くの摘発となった。

過去の事例において、男性航空機旅客の密輸入事犯が多い中、タイ人の場合は、平成25年及び26年で摘発があった25人のうち24人が女性で、その殆どが20代~30代(24人中20人)の若年層という特徴があった。

タイ人女性による覚醒剤密輸入事犯は、タイからの直行の他、中国及び香港を仕出地とした事犯と同様の手口によるものを多数摘発した。また、新潟空港では平成19年以来となる覚醒剤の摘発があり、同事犯もタイ人女性を利用したものであったことから、首都圏空港(成田・羽田)のみならず、地方空港も利用し、タイ人女性を使った組織的な密輸の動きが見られた。

東京税関における過去5年間の航空機旅客国籍別覚醒剤摘発実績

	国籍		平成2:	2年	平成23年				平成24	1年		平成2	5年	平成26年			
玉			女性		人数	3	女性		女性		人数		女性	人数	女性		
			人数	比率	八奴	人数	比率	人数	人数	比率	八奴	人数	比率	八奴	人数	比率	
タ	7	1	-	-	-	-			-	1	2	2	100.0%	23	22	95.7%	
\Box	本	16	7	43.8%	15	5	5 33.3%		2	25.0%	11	4	36.4%	11	1	9.1%	
米	王	1	1	100.0%	6	3	50.0%	6	2	33.3%	11	2	18.2%	10	2	20.0%	
イギ	リス	0	1	11.1%	8	4	50.0%	З	0	0.0%	1	1	100.0%	7	1	14.3%	
メキ	シコ	8	2	25.0%	16	3	18.8%	14	5	35.7%	13	7	53.8%	4	1	25.0%	
合	計	87	25	28.7%	122	39	32.0%	67	17	25.4%	92	31	33.7%	99	37	37.4%	

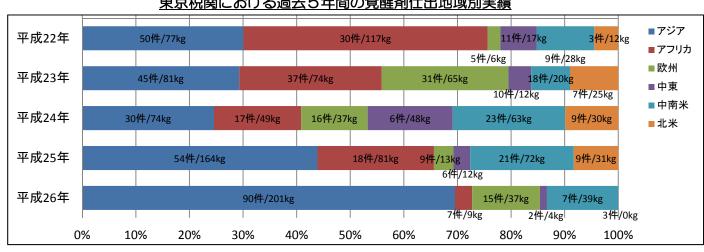
注)上記表は、平成26年における国籍別旅客数の上位5カ国を抜粋したものであり、合計は各年の全体の合計である。

中国・タイを中心に覚醒剤密輸入が顕著に増加!

過去5年間のアジア地域仕出の覚醒剤密輸入を見ると、平成25年に押収量が前年の約2.2倍に急増し、さらに平成26年では、件数が前年の約1.7倍、押収量は約1.2倍に増加となり、この2年間で同地域からの覚醒剤密輸入は増加傾向にある。また、平成26年においては、件数及び押収量とも東京税関が摘発した覚醒剤全体の約7割を占め、押収量がついに200kgを超えた。

仕出国別では、中国(香港・マカオを含む)は、近年、徐々に増加傾向を示していたところ、 平成26年に件数が前年比約2.1倍の60件、押収量は前年比約3.8倍の約170kgと急増し、全体の半数 を占めた。また、タイは前年まで摘発が少なかったが、航空機旅客事犯を中心に大幅に増加した。

これらの摘発状況により、近年、アジア地域を仕出とする覚醒剤密輸入は、中国を中心に顕著に増加している。

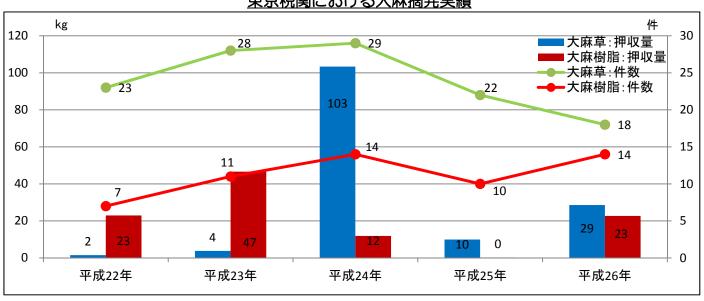


東京税関における過去5年間の覚醒剤仕出地域別実績

2 その他の不正薬物密輸入事犯の概況

- ▶ 平成25年に大幅減少となった大麻が、平成26年は32件/約51kg (大麻草: 18件/約29kg、大麻樹脂: 14件/約23kg) と再び増加に転じた。
- ▶ 大麻の主な仕出国は、大麻樹脂がインド、ネパール、大麻草は米国であった。
- 麻薬として指定された薬物の摘発押収量が増加した。

東京税関における大麻摘発実績



資料1

東京税関における社会悪物品の摘発実績

種類								
*			平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	前年比
	 包配剤	件	108	148	101	118	124	105%
5	で 日生 月リ	kg	257	277	302	374	289	77%
	大麻	件	30	39	43	32	32	100%
	ノヘ州外	kg	24	50	115	10	51	502%
	大麻草	件	23	28	29	22	18	82%
	八州平	kg	2	4	103	10	29	288%
	大麻樹脂	件	7	11	14	10	14	140%
	ノく州が「辺が日	kg	23	47	12	0	23	8140%
お	5へん	件	2	1	-	1	_	全減
O.	15 170	kg	3	0	-	0	-	全減
		件	18	16	27	79	32	41%
J	麻薬	kg	5	30	11	4	6	130%
_		千錠	10	0	1	15	0	1%
	ヘロイン	件	2	4	1	1	2	200%
	(01)	kg	0	3	1	1	0	0%
	コカイン	件	3	4	6	Ω	6	200%
	2/3 2	kg	1	24	9	0	2	590%
	MDMA等	件	-	4	4	4	1	25%
		kg	-	2	0	3	0	0%
		千錠	-	0	0	0	_	全減
	ケタミン	件	7	-	6	4	5	125% 494%
	, , , ,	kg	4	_	0	0	1	494%
		件	2	Ω	2	1	1	100%
	メチロン	kg	0	1	_	О	0	14%
		千錠	-		0	-	-	_
		件	4	1	8	66	17	26%
-	その他麻薬	kg	0	-	-	0	3	580%
		千錠	10	0	0	<u>15</u>	0	1%
<u></u> .	NI = + ch +++	件	9	11	17	5	8	160%
	精神薬	kg	_	2	_	0	_	全減
		千錠	4	5	6	2	3	139%
	∧= 1	件	167	215 360	188	235	196	83%
ĺ	合計	kg	291	360	427	389	346	89%
	\	千錠	14	5	6	17	3	17%
(参考))使用回数	万回	892	1,091	1,081	1,258	1,000	80%
	全本で与	件	-	-	-	1	-	全減
j	銃砲	丁	_	_	_	0	_	全減
	ニた × ☆	件	-	_	_	1	_	全減
	うち拳銃	丁	-	_	_	Ó	_	全減
全大 :	功如口	件	-	-	_	-	2	全増
並允1	砲部品	丁	_	_		_	2 2	全増

- (注) 1. 税関が摘発した密輸事件に係る押収量の他、警察等他機関が摘発した事件で、税関が当該事件に関与したものに係る押収量を含む。
 - 2. 覚醒剤は、覚醒剤及び覚せい剤原料の合計数量を示す。
 - 3. 大麻樹脂は、大麻樹脂その他大麻の製品の合計数量を示す。
 - 4. MDMA等は、MDMA、MDA及びMDEの合計数量を示す。
 - 5. (参考)使用回数は、以下の不正薬物について、乱用者の通常の一回分使用量をもとに換算し、合計したものである。 (覚醒剤:0.03g、大麻草:0.5g、大麻樹脂:0.1g、ヘロイン:0.01g、コカイン:0.03g、あへん:0.3g、MDMA等及び向精神薬:1錠)
 - 6. 端数処理のため数値が合わないことがある。
 - 7. 薬物の数量表記について、「O」とは500gまたは500錠未満の場合を示し、「-」とは全くない場合を示す。
 - 8. 平成26年の数値は速報値である。

資料2

覚醒剤にかかる仕出国・地域別件数一覧

	1							UU I 7 13	EA103330						1								
地 域	国名			平成22年				平成2				平成24年				平成25年					平成26年		
20 20			件数	押収量	件 数 全体比	1 件 平均量	件数	押収量	件 数 全体比	1 件 平均量	件数	押収量	件 数 全体比	1 件 平均量	件数	押収量	件 数 全体比	1 件 平均量	件数	件 数 全 体 比	押収量	押 収量全体 比	1 件 平均量
アジア	中国		15	23.0	13.9%	1.5	24	35.9	16.2%	1.5	18	60.9	17.8%	3.4	29	44.1	24.6%	1.5	60	48.4%	169.7	58.6%	2.8
		(中国)	10	7.3	9.3%	0.7	4	6.4	2.7%	1.6	6	3.3	5.9%	0.5	19	25.7	16.1%	1.4	26	21.0%	67.5	23.3%	2.6
		(香港)	5	15.7	4.6%	3.1	20	29.5	13.5%	1.5	11	57.7	10.9%	5.2	9	15.4	7.6%	1.7	29	23.4%	92.1	31.8%	3.2
		(マカオ)									1	0.0	1.0%	0.0	1	3.0	0.8%	3.0	5	4.0%	10.1	3.5%	2.0
	タイ	,	5	7.2	4.6%	1.4	7	29.0	4.7%	4.1	2	2.5	2.0%	1.3	1	1.0	0.8%	1.0	20	16.1%	26.8	9.3%	1.3
	フィ	リピン	1	0.0	0.9%	0.0	2	4.0	1.4%	2.0	4	1.0	4.0%	0.2	1	0,0	0.8%	0.0	7	5.6%	2.1	0.7%	0.3
	台湾		19	28.9	17.6%		3	3.6	2.0%	1.2	2	0.0	2.0%	0,0	1	1.0	0.8%	1.0	2	1.6%	0.0	0.0%	
		・ナム	10	20.0	11.070	1.0	1	0.0	0.7%	0.0		0.0	2.070	0.0		1.0	0.070	1.0	1	0.8%	2.7	0.9%	-
												0.7	0.00/	0.0	4.0	4007	10.00/	0.5	'	0.0%	2.1	0.576	۷.1
	イン						1	0.0	0.7%	0.0	3	9.7	3.0%		16	103.7	13.6%	6.5					
		グラデシュ									1	0.0	1.0%	0.0	3	8.3	2.5%	2.8					
	マレ	/ーシア	8	15.7	7.4%	2.0	6	7.2	4.1%	1.2			ļ		2	3.9	1.7%	2.0					
	シン	ガポール	1	0.6	0.9%	0.6									1	2.0	0.8%	2.0					
	カン	ボジア					1	1.5	0.7%	1.5													
	ネバ	パール	1	2.0	0.9%	2.0																	
アフリカ	ウガ	i ンダ													5	43.6	4.2%	8.7	4	3.2%	5.3	1.8%	1.3
	ケニ	ア					2	3.7	1.4%	1.9	4	17.5	4.0%	4.4	3	6.6	2.5%	2.2	2	1.6%	4.0	1.4%	2.0
	南ア	アフリカ	5	32.4	4.6%	6.5	7	11.8	4.7%	1.7	3	15.9	3.0%	5.3	4	17.8	3.4%	4.4	1	0.8%	0.0	0.0%	0.0
	ベナ	-ン	9	44.3	8.3%	4.9	5	11.1	3.4%	2.2	2	3.8	2.0%	1.9	1	3.5	0.8%	3.5					
	マリ	ı					2	2.8	1.4%	1.4			<u> </u>		1	3.4	0.8%	3.4					
		′ジェリア	7	18.1	6.5%	2.6	6	7.5	4.1%	1.3	2	1.8	2.0%	0,9	1	3.0	0.8%	3.0					
									 														
		トジボアール	1	3.3	0.9%	3.3	1	19.9	0.7%	19.9	1	2.9	1.0%	2.9	1	1.4	0.8%	1.4					
	ガー		1	2.4	0.9%	2.4	4	3.2	2.7%	8.0	3	5.4	3.0%	1.8	1	1.0	0.8%	1.0					
	タン	/ザニア	1	2.5	0.9%	2.5							ļ		1	1.0	0.8%	1.0					<u> </u>
	カメ	ルーン	3	7.0	2.8%	2.3	2	2.0	1.4%	1.0	2	1.6	2.0%	0.8									
	セネ	ガル	2	4.2	1.9%	2.1	3	4.9	2.0%	1.6													
	ブル	キナファソ					1	3.0	0.7%	3.0													
	モザ	「ンビーク					1	1.5	0.7%	1.5													
	ガン	ピア	1	3.1	0.9%	3.1	2	1.4	1.4%	0.7													
	ジン	バブエ					1	1.0	0.7%	1.0													
欧州	キブ	プロス																	4	3.2%	8.6	3.0%	2.1
		ノニア																	4	3.2%	6.5	2.2%	-
		パイン	1	2.0	0.9%	2.0					1	3.8	1.0%	3.8					3	2.4%	10.3	3.6%	
			'	2.0	0.5%	2.0	-	400	2.40/	0.4					2	6.0	0.50/	0.4					-
	ドイ				0/		5	10.3	3.4%		4	11.6	4.0%		3	6.3	2.5%		1	0.8%	5.8	2.0%	-
		ジリス	4	4.2	3.7%	1.1	8	17.1	5.4%	2.1	3	1.2	3.0%		2	2.0	1.7%	1.0	1	0.8%	1.5	0.5%	-
	オラ	シダ					5	7.8	3.4%	1.6	4	12.6	4.0%	3.1	2	1.7	1.7%	0.8	1	0.8%	2.0	0.7%	2.0
	スイ	' ス																	1	0.8%	1.9	0.7%	1.9
	フラ	シンス					7	10.5	4.7%	1.5	2	3.3	3.8%	1.7	1	2.1	0.8%	2.1					
	ギリ	リシャ													1	1.4	0.8%	1.4					
	ルー	マニア					2	11.2	1.4%	5.6	1	4.0	1.0%	4.0]			
	ベル	ギー					1	2.0	0.7%	2.0	1	0.9	1.0%	0.9									
	イタ	ツア					3	6.5	2.0%	2.2													
中東	トル	<i>,</i>	3	6.9	2.8%	2.3	4	4.5	2.7%	1.1	2	0.7	2.0%	0.3	5	9.6	4.2%	1.9	2	1.6%	3.8	1.3%	1.9
	アラ	ブ首長国連邦	6	9.6	5.6%	1.6	6	7.4	4.1%	1.2	2	3.2	2.0%	1.6	1	2.2	0.8%	2.2					
	イラ		2	0.8	1.9%						2	43.9	2.0%										
中南米		シコ	7	22.0	6.5%		17	18.1	11.5%	1.1	21	61.0	20.8%		21	72.2	17.8%	3.4	6	4.8%	38.0	13.1%	6.3
. 10/1		テマラ	'		3.570	5.1	''	, 0, 1	. 1.576	1.1	1	2.0	1.0%				. 1.570	5.7	1	0.8%	0.5	0.2%	-
																			1	0.0%	0.5	0.2%	0.5
		タリカ									1	0.3	1.0%	0.3									
		ピア	2	5.7	1.9%	2.9	1	2.0	0.7%	2.0													<u> </u>
北米	米国						4	16.0	2.7%	4.0	7	22.3	6.9%	3.2	5	11.1	4.2%	2.2	3	2.4%	0.0	0.0%	0.0
	カナ	-ダ	3	11.5	2.8%	3.8	3	9.0	2.0%	3.0	2	7.6	2.0%	3.8	4	19.9	3.4%	5.0					<u> </u>
不明	不明														1	0.6	0.8%	0.6					
																				_			2.3

押収量及び1件平均量の単位はKgである。
押収量の標記について、「0.0」とは、50g未満を示す。
特数全体比の合計は、端数処理の関係上100%にならない場合がある。

平成26年における東京税関の摘発事例

【摘発事例1】 玩具の箱に隠匿された大麻草を摘発

平成26年2月、成田税関支署は、米国から成田空港に到着した日本人男性の携帯品検査において、スーツケースに収納した玩具の箱に隠匿されていた大麻草約15kgを摘発した。







【摘発事例2】 サンダルに隠匿された大麻樹脂を摘発

平成26年2月、東京税関は、ネパールから到着した航空小口急送貨物の検査において、 サンダルに隠匿されていた大麻樹脂約6kgを摘発した。







【摘発事例3】 菓子袋に隠匿された覚醒剤を摘発

平成26年3月、成田税関支署は、スペインから成田空港に到着した米国人男性の携帯品検査において、スーツケースに収納した菓子袋に隠匿されていた覚醒剤約6kgを摘発した。







【摘発事例4】 家電製品に隠匿された覚醒剤を摘発

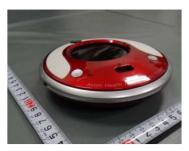
平成26年6月、東京外郵出張所は、中国から到着した航空小包郵便物の検査において、 家電製品に隠匿されていた覚醒剤約400gを摘発した。















【摘発事例5】 スーツケースに隠匿された覚醒剤を摘発

平成26年7月、新潟税関支署は、中国から新潟空港に到着したタイ人女性の携帯品検査において、スーツケースに隠匿されていた覚醒剤約1kgを摘発した。









【摘発事例6】 リュックサックに隠匿された覚醒剤を摘発

平成26年9月、羽田税関支署は、香港から羽田空港に到着した日本人男性の携帯品検査において、スーツケースに収納したリュックサックに隠匿されていた覚醒剤約8kgを摘発した。









【摘発事例7】 ショルダーバッグに隠匿された覚醒剤を摘発

平成26年10月、成田税関支署は、香港から成田空港に到着したタイ人女性の携帯品検査において、スーツケースに収納したショルダーバッグに隠匿されていた覚醒剤約4kgを摘発した。









【摘発事例8】 体内に隠匿された覚醒剤を摘発

平成26年11月、成田税関支署は、タイから成田空港に到着したタイ人女性の携帯品検査において、体内に隠匿されていた覚醒剤約200gを摘発した。



